

# さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.984  
2023.1.1-8

発行

日本共産党さいたま市議会議員団  
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165  
http://www.jcp-saitama.jp/

とりうみ敏行	神田よしゆき
松村としお	とばめぐみ
久保みき	たけこし 連
金子あきよ	

## マイナンバーカード 生保受給者の 情報紐づけに反対

### 12月議会・予算委員会

12月議会の予算委員会で、とりうみ敏行市議が議案第145号「令和4年度さいたま市一般会計補正予算(第9号)」について質疑・討論を行いました。

この議案には、マイナンバーカードに生活保護受給者の個人情報紐づけ一元管理しようとする危険な予算が含まれています。

とりうみ市議は、「生活扶助オンライン資格確認導入に伴う生活保護システム改修等」の予算について、厚労省が「2023年度中に紙の『医療券』からマイナンバーカードを使った受診に切り替える理由のひとつに、『頻回受診者』を早期に把握し、改善指導するため」としていることをあげ、さいたま市における紙の「医療券」のもとでの「頻回受診者」の定義を質しました。市は、「概ね月に15日以上受診が3カ月間続くと確認された人について総合的に判断する」と答弁しました。しかし、本市における「頻回受診者」数は、生活保護受給者1万9266人(2022年10月末現在)に対し、わずか6人であったことが明らかになりました。

とりうみ市議は、「マイナンバーカード取得はあくまでも任意であり、被保護者の情報



の紐づけも任意であるが、未成年者の同意はどうするのか疑問が残る。医療機関における受け入れ環境を進めるためにオンライン資格確認が強制的に進められることも懸念され、あわせて医療機関等が、本人の同意を得て薬剤情報および検診情報を閲覧できるとしているが、チェック体制が行政の側に整備されていない」と指摘し、国のいうままに生活保護受給者だけをねらいうちする本システムの導入に反対しました。

他にもとりうみ市議は、「総合基盤システム」に関する予算案について、「2025年までに住民基本台帳、戸籍、固定資産税、住民税、印鑑登録、児童手当等、自治体が保有する個人情報のオープンデータ化を進めるもので、結局は『デジタルビジネス』創出のために個人情報を流通させものである」として反対しました。

## あなたの要求実現へ 市民とともに市政を動かします

皆様におかれましては、2023年をご健勝にてお迎えのことと思います。

新型コロナウイルス感染症の第八波による感染拡大、新自由主義とアベノミクスの失敗による異常な物価高騰の中で新年を迎えましたが、依然として市民のくらしには改善の兆しが見えません。国政では、岸田政権によってウクライナ問題や北朝鮮のミサイル問題を口実に大軍拡、大増税が進められ、敵基地攻撃能力を明記した「安保関連3文書」が閣議決定されました。

そんななか、昨年12月議会では、市民の窮状に寄り添うこともなく、市長、副市長、教育長及び市議会議員などの期末手当が引き上げられました。

2023年度は、大宮駅周辺開発をはじめ浦和駅西口の再開発がこれまで以上に大掛かりに進められます。新庁舎移転後の跡地利用も大きな問題となってきます。統一協会とさいたま市議会議員の関連も明らかになっていません。

日本共産党市議団は、政令市で第三位の財政力をいかにして、大規模開発から市民の暮らし優先の市政に切り替えるため、全力をあげてまいります。水道料金の引き下げ、学校給食費の無償化、国保税の引き下げなど、市民の命とくらし、営業を守る皆とがんばります。今年もどうぞよろしく願っています。

日本共産党さいたま市議団

## 議案外質問(12月12日)

### 保健福祉

#### 自動車燃料費助成の拡充を

市は障がい者の移動の手段として、自家用車を使用する障がい者の自動車燃料費の一部を助成しています。車を運転する障がい者、または障がい者のために車を運転する同居の家族が対象で、1リットルにつき50円で、



年度1万円が上限です。燃料価格高騰の影響を受け、バス会社やタクシー会社に対しては支援金が出されていましたが、ほかに移動手段のない、車が命綱となっている障がい者や家

族にとってはこの自動車燃料費の助成も命綱です。ガソリン代は当分下がる見込みはありません。

とばめぐみ市議は「経済や社会の活動を止めないのであれば、この助成を引き上げるのが当然ではないか」と質しました。市は「事業対象者が増加傾向にあり事業継続のためにはさらなる予算の確保が必要。現時点で助成

額の引上げは難しい」と答弁。とば市議は「利用者は3年も続くコロナと長引く物価高騰で今困り切っている。1年1万円のガソリンでどうやって社会活動を維持するのか。今こそ拡充すべきではないのか」と強く求めました。

### 保健福祉

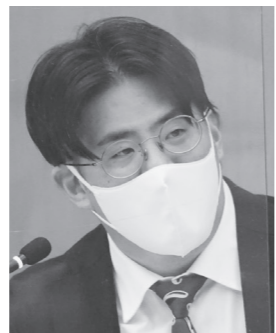
#### 高齢者の移動支援 すぐに使える制度に

たけこし連市議は、さいたま市が2018年からスタートした高齢者の移動を支える補助制度についてとりあげました。

**たけこし** 高齢者の移動支援事業の実績についてうかがう。

**長寿応援部長** 現在、岩槻区で2例、大宮区で1例の合計3団体で使われている。

**たけこし** 2018年からスタートしたにもかかわらず、いまだに3件しか実績がない。私たちが日々接している市民のみなさんの需要に対して十分に答えられているとはいえない印象だ。この制度は要件が厳



しく、すぐに使えるものではない。市が直接事業を実施するなど、すぐに使える制度に変えていくべきではないか。

**長寿応援部長** この事業は、地域住民等が主体となる移動支援と位置づけており、市が直接事業を実施することは、現時点ではまだ考えていない。

たけこし市議は「市が把握しているニーズに基づいた移動支援にしてほしい。市議団の掲げる『交通は人権』を具現化する提案を続けていきたい」と話しました。たけこし市議は他に、動物愛護政策についても質問しました。

### まちづくり

#### 補助を活用しエレベーター設置をすすめよ

久保みき市議は、集合住宅のエレベーター設置について質問しました。ひとつは市営住宅、今ひとつは民間のマンションへのエレベーター設置についてです。国は市営住宅のエレベーターの後づけ設置に2分の1の補助を出しています。国庫補助を活用して後づけ



でエレベーターを設置すべきと求めたところ、市は市営住宅の建て替え整備に併せてエレベーターを設置していくとのことでした。

民間マンションにおいても国に交付金制度があり、国、市、マンション管理組合がそれぞれ3分の1の負担をするしくみです。久保市議はこの補助制度を活用すべきと質問しましたが、答弁は、「対象となるマンション数が多数あり、市の負担が多くかかることから、事業の創設は考えてない」と後ろ向きでした。どのくらいの申し込みがあるのかはやってみなければ分かりません。久保市議は「市の負担が重いというのなら、できる範囲で行えばいい。これからも、他市を調査するなどして実現を求めていきたい」と話しました。

### あなたの身近な議員です



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保みき



市議(南区)

金子あきよ



市議(北区)

神田よしゆき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(中央区)

たけこし連